

# スミターマルの効果

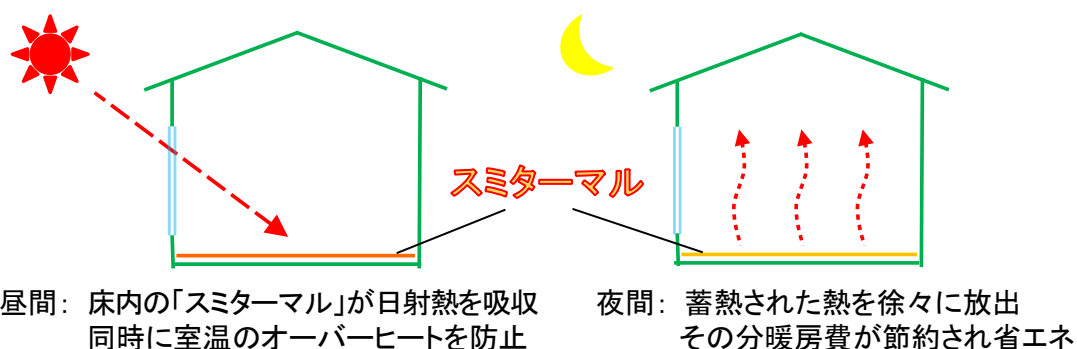
高気密・高断熱住宅において、冬期の太陽熱を積極的に取り込んで、暖房費の節約を図りたいとき、「スミターマル」がお役に立ちます。

日中の日射熱を床等に施工した「スミターマル」に蓄えることで、室温のオーバーヒートを防止でき、夜間に温度が下がってくると、蓄えた熱が徐々に放出され、室温の低下を抑制します。

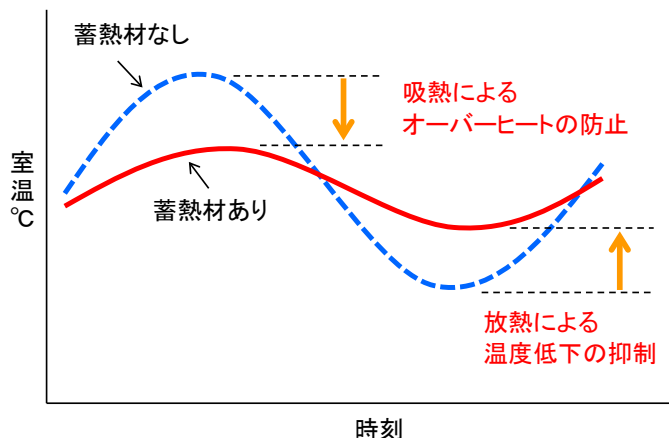
このことにより暖房費が節減され、省エネ効果が発揮されます。

同時に、室温の安定化効果により温熱環境が改善され快適性がUPします。

## ■潜熱蓄熱材による省エネ効果のイメージ（冬期）



## ■室温安定化効果のイメージ



潜熱蓄熱材「スミターマル」は、快適温度(20~25°C)以上になると熱を吸収し、それ以下になると蓄えていた熱を放出し、室温を安定化させます

## ■コンクリート等との蓄熱性の違い

潜熱蓄熱材「スミターマル」は、コンクリートなどの顕熱蓄熱材と比べて、快適温度域で蓄熱量が大きいので、長時間の快適性が期待できます

